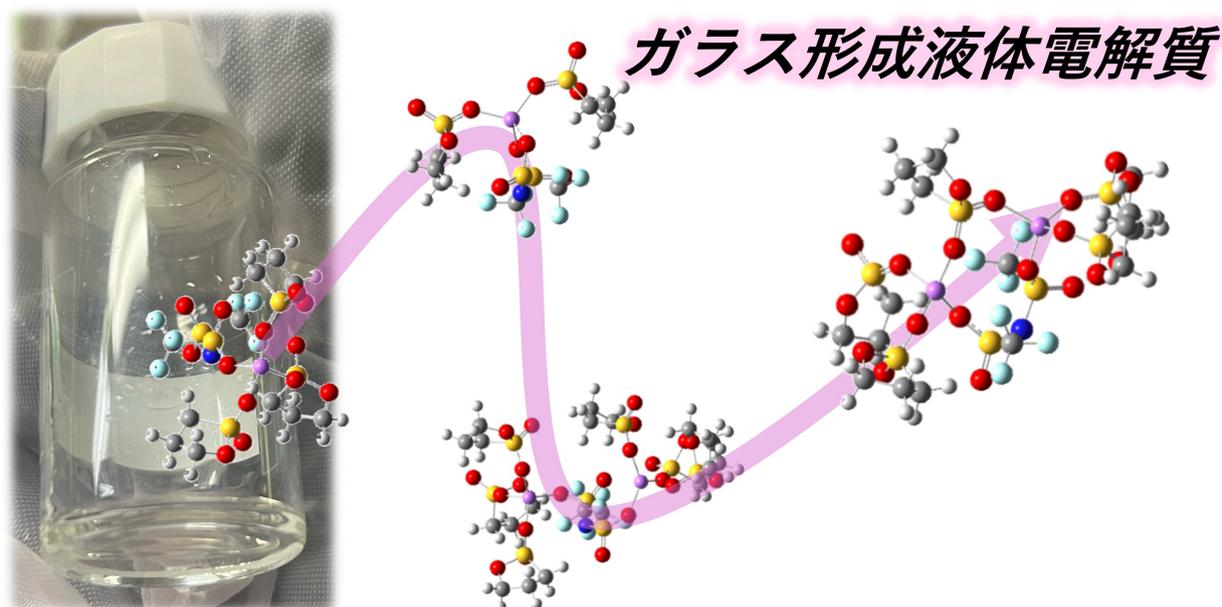


第139回 理学部コロキウム

次世代電池を志向するガラス形成液体電解質

理学部 化学プログラム 韓 智海



日時：6月26日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）

場所：B303講義室（対面方式です）

持続可能な社会を実現するためには、高エネルギー密度の二次電池や、高効率の電析が可能な次世代電気化学デバイス・プロセスの開発が必要です。次世代蓄電デバイス・プロセスの性能を左右するのは、電池構成材料である電解液です。

最近、当研究グループでは、固体と固体を混合させたところ、室温で液体でありながらガラス転移のみ示す「ガラス形成液体電解質」を見出しました。この液体は高速なイオン伝導を示し、次世代蓄電デバイスの電解液として期待できます。本講座では、次世代蓄電デバイスに資する電解液の研究について紹介するとともに、液体と固体の間ともいえるガラス形成液体電解質について紹介します。

問い合わせ先：長束俊治 (natsuka@bio.sc.niigata-u.ac.jp)